

平成29年4月14日

各位

会社名 株式会社 じげん
代表者名 代表取締役社長 平尾 丈
(コード番号：3679 東証マザーズ)
問合せ先 経営戦略部 部長 寺田 修輔
(TEL. 03-6432-0352)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成28年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,600	2,050	2,038	1,150	22.06
今回修正予想(B)	7,550	2,270	2,300	1,270	24.00
増減額(B-A)	950	220	262	120	1.94
増減率(%)	14.4%	10.7%	12.9%	10.4%	8.8%
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	5,031	1,609	1,603	899	17.39

2. 修正の理由

平成29年3月期の通期連結業績は、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益、のいずれにおいても従前計画を上回り、領域別売上高の内訳は、求人5,430百万円(従前計画4,600百万円)、不動産1,460百万円(同1,600百万円)、生活660百万円(同400百万円)となる見通しです。

平成29年3月期の通期連結業績の増額修正要因のうち、1月10日より新規に連結している三光アドの影響は売上高で約450百万円(求人領域に計上)ですが、株式取得及び連結子会社化に伴う一過性の諸費用やのれん償却費を考慮した実質的な営業損益貢献は約50百万円です。三光アドの影響を除いた既存事業の従前計画比増分は、売上高約500百万円、営業利益約170百万円です。

三光アドを除く既存事業について、求人領域ではアルゴリズム変更によるアグリゲーションメディアのコンバージョンレート改善やリジョブを中心とする特化型メディアの顧客数増加、生活領域ではメディア顧客との提携が順調な自動車分野アグリゲーションメディアの単価及びコンバージョンレート改善が想定を上回って推移しました。また、求人領域の採用課金型顧客基盤の拡大に伴う営業外収益の増加や低金利での借入金リファイナンスに伴う営業外費用減少により、営業外損益も期首計画を超過する見込みです。

四半期別の連結営業利益推移は、第1四半期 484 百万円(前年同期比+44.8%)、第2四半期 540 百万円(同+38.4%)、第3四半期 552 百万円(同+24.9%)、第4四半期約 690 百万円(同約+56%)、となる見込みです。第4四半期につきましては、本社移転や三光アドの株式取得関連といった一過性費用に加え、従業員向け賞与制度の新設や管理体制の強化に伴う費用増加要因があったものの、前年同期と比較して、広告宣伝費や販売促進費といった繁忙期特有の変動費を効率的に統制することができました。結果として、第4四半期営業利益の前年同期比伸び率は第3四半期よりも拡大し、通期でも前年比約+41%の大幅営業増益を達成する見通しです。

なお、平成 29 年 3 月期の通期決算発表の開示は平成 29 年 5 月 12 日(金)を予定しております。また、平成 30 年 3 月期の業績予想と同時に、修正第 1 次中期経営計画(平成 28 年 5 月 13 日に公表した第 1 次中期経営計画)について、主に数値目標を更新)も発表予定です。

(注)上記の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上